

2024 年度

ニチイキッズ乐山保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月17日（月）～2月20日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念『おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ』の基、子どもたちの心が動く保育を大切にしていた。子どもだけでなく、保育者自ら保育に積極的に参加し楽しむことを職員間で共通認識し保育を行った。
子どもの発達援助	クラスミーティングに加え、全職員が園児の発達状況についてカンファレンスを行い、共通認識を基に子どもたちに関わることを心掛けた。一人一人の発達の見通しや課題を明確にして、子どもたちの発達に添った支援を行えた。
保護者に対する支援	日々の保育やコミュニケーションを通して子育ての困り感に寄り添いながら保護者との信頼構築、保護者支援に努めた。また、行事を通し保護者間の交流の機会を持つことに努めた。 地域における子育て支援は、子育てひろばや離乳食試食会など開催し保育園としての役割を果たしたが、開催内容や情報提供などの課題となっている。
保育を支える組織的基盤	全職員が外部研修を受講、スキルアップを図った。また、様々なマニュアル内容について確認を行うと共に、職員一人一人が園内研修において役割分担を行いながら保育・食育などの専門性を高め、保育の質の向上を目指していきたい。

総評
子どもたちの発達課題に関するカンファレンスを毎月開催、担任だけでなく全職員が共通認識をもって関わる事ができた。また、保育に関する課題も職員間で伝え合い、チームワークを活かした対応を行うことで職員の抱えている悩みや疑問に対して対応する体制構築が出来てきている。 手作り玩具の充実など保育環境を整えながら、子ども達の生活の場において安全な保育の提供に努めていく事が必要である。